

2017年4月11日

トヨタ車体、国内自動車生産累計 3,000 万台を達成

トヨタ車体株式会社(本社：愛知県刈谷市、取締役社長：増井 敬二)は、2017年4月10日までの生産をもって、国内での自動車生産累計台数 3,000 万台*を達成しました。

これは、1945年8月にトヨタ自動車工業株式会社(現トヨタ自動車株式会社)から分離独立して以来、71年8カ月での達成となります。

当社は、トラックボデーの専門メーカーとして産声を上げて以来、完成車両メーカーへの歩みを進め、キャブのオールスチール化に成功した「BX型トラック」や、量産小型バスの「トヨタライトバス」(現コースター)、モノコックボデーを採用した商用車「ハイエース」、ハードトップの乗用車「コロナ」など、いくつもの国産初の技術を成し遂げ、初代社長 豊田喜一郎の掲げた『クルマづくりを通して人々の暮らしを豊かにしたい』という理念の実現に向けて、取り組んでまいりました。

その後も多用化するライフスタイルに応えるために、「ランドクルーザー」や天才タマゴのキャッチコピーで親しまれた「エスティマ」、ならびに「ヴォクシー・ノア」や最上級ミニバン「アルファード・ヴェルファイア」を世に送り出し、お客様の笑顔とともに生産台数を伸ばしてきました。

そして2016年4月からは、トヨタ自動車の製品軸カンパニーのひとつである、バン・トラック・ミニバン・SUVを担う『CV Company』の中核として、世界中のお客様の目線に立った、愛されるクルマづくりを進めています。

これからも、トヨタ車体は革新的なモノづくりとチャレンジする人づくりで、お客様の暮らしに寄り添うパートナーとなり、期待を超える感動と驚きをお届けしてまいります。

【生産台数の推移】

1979年 10月	500万台
1990年 8月	1,000万台
2001年 1月	1,500万台
2004年 10月	2,000万台
2010年 4月	2,500万台
2017年 4月	3,000万台

【生産累計上位5車種 (2017年3月末時点)】

ハイエース	約 615万台
ランドクルーザー	約 566万台
ヴォクシー・ノア・エスクァイア	約 217万台
エスティマ (エミーナ・ルシーダを含む)	約 204万台
トヨエース	約 202万台

*3,000万台には、2002年から岐阜車体工業(株)へ生産委託している台数分100万台と2004年に車両事業統合したアラク株式会社の車両生産分500万台を含む



BX型トラック



初代ハイエース・バン



初代エスティマ



アルファード

世界の暮らしに 笑顔届けたい

